

## 調布の自然で遊ぶ

### こどもエコクラブ

7月1日(土)今年度第1回目は「野川と湧水の生物」をテーマに、水生生物を採取しながら調布の自然を学ぶ活動です。

集まった子供から順にメンバーズバッジや会員手帳などが手渡され、小池講師から活動内容などの説明。万一カミツキガメを発見した場合は、すぐ大人に知らせるようにとの注意も。

中島橋から川原へ降り、採取場所の細田橋まで歩きましたが、その道のりではカルガモや亀を見ることができました。



よ〜く  
探してみよう!  
何がいるかな?

24人の子供たちは靴をはいたまま、怖がることなく川へ入り、サポーターのアドバイスを受けながら真剣に生物を探し始めました。

1時間弱で採れた生物は、ヤマトビケラ、ヒル、ミナミヌマエビ、モツゴなど。メダカやアメリカザリガニも。子供たちの目が輝きます。

ヤマトビケラ、ヒルは水質の指標となる生物で、今回の調査では「少し汚れた水」と「汚い水」の中間という結果が出ました。講師の話によると、10日ほど前の増水で生物が流されてしまい、まだ戻って来ていないとのこと。本来であれば、もう少しきれいな水質の指標となる生物が取れるのだそうです。採取場所に流れこ

む佐須用水からは、ブユが採取できました。ブユはきれいな水にしか生息しない生物なので、佐須用水のきれいさを改めて知ることができました。

取れた生物は川に戻してもいいし、持ち帰ってもいいとのことでしたが、講師から「もし飼えなくなったら、ここに返してあげてね」と一言。子供たちもよく理解してくれたようでした。

### こどもエコクラブって?

環境省が応援しているこどももなら誰でも参加できる環境活動クラブで、全国で11万人が登録しています。

調布市では毎年環境保全課が会員を募集し主催していますが、2人以上の会員と「市区町村こどもエコクラブ事務局(市役所環境担当課)」と連絡をとってもらえば代表サポーター(大人)がいれば誰でも新たに、こどもエコクラブ全国事務局へ登録できます。対象は幼児〜高校生まで。

活動としては生きもの調査、町のエコチェック、リサイクル活動など、環境に関することならなんでも。また、エコロジカルとれーにんぐと言って地球環境のことを楽しく考えるプログラムも用意されています。

全国的な組織なので活動内容を報告するとホームページに載ったり、壁新聞を作って応募すると全国フェスティバルに招待される可能性もあります。お友達や家族で登録している人もいますよ。

ホームページ「こどもエコクラブ」で調べてみよう。

# 水のお話 田んぼの学校 番外編

## 水不足の心配も一安心

今年稲苗の生育が遅く、しかも水不足で、田植えの時期が一週間ほど遅れてしまいました。今は梅雨で田んぼにも水が行き渡っていますが、最近水無月に本当に水不足に悩むことが多くなりました。深大寺から佐須にかけての用水路の水量が、年々少なくなっているように感じます。

その昔、といっても3、40年くらい前まで、「調布は当時、あたり一面の田んぼだった」という話をよく聞きます。八ヶ下からの湧水が豊富だったこともあるのでしょう。さらに一段高い崖線の神代水生植物園のあたりは腰までつかぬ泥田だったそうです。しかし、水が豊かだった反面、大雨が降ると佐須の柏野小学校から野川の下流まで、あたり一面が湖のようになって、下半身まで水につかる洪水がしばしばおきていたことを、近隣の農家の方からよく聞きます。かつては玉川上水から調布まで水路がひかれ、いくつも枝分かれしながら上水や農業用水などとして利用されていましたが、それも宅地化による上下水道の整備によって埋められたり、暗渠になったりして姿を消してしまいました。

最近井の頭公園と玉川上水をよく散歩しています。そして上水沿いの環境が、驚くばかりに調布と

似ていることに気づきました。特に深大寺・佐須の辺りと。

農家の屋敷林、雑木林で子供たちがカブトムシやクワガタなどを捕まえる姿や図鑑で調べても分からない水鳥などの他、まれに狸・蛇など、さまざまな動植物を見るうちに、昔の用水が果たした玉川上水と調布の環境や生態系の関連性に興味をわいてきました。

ではまた、次にお伝えできる新しい発見を探しに出かけてきます。(こんどう)

正体不明の水鳥  
(どなたか種類の分かる方教えてください)



クワの実がおいしいのは皆知ってる？  
ところでコウゾの実は何？

## 里山の保全 ~ 市民のうごき 7月

### カニ山の会

7/1(土) 参加者 8名。

初めての参加の方を交えて主にシュロの伐採をした。7本ほど切ったところはさっぱりした感じだが、まだまだ多くのシュロがしげっている。ここは東京都の所有地ということでやたらに伐採はできないが「アオキ等も伐採したい」というメンバーの意見。

方形枠の中は他と比べて実生のコナラやイヌシデがびっしり生育中。これから先の淘汰がどうなるか興味深いところ。

### 環境モニター

7/8(土) 参加者 10名+4名  
小澤講師と共に高尾の植物観察。

キビタキやクロツグミの鳥の鳴き声を聞きながら1400種以上といわれる植物を観察。大勢の登山者がいたが、人が出入りするだけでは植物が変化することは無いようで、調布とは気温の違いより環境の違いが植物の違いになって現れているようだ。調布の帰化植物の比率を調べたら環境の違いを知る手がかりになるのではないだろうか。



アカショウマ

### 人間・樹林の会

7/16(日) 参加者 6名。

雨の中、2班に分かれて根本講師と共に植生調査を行いました。マテバシイの広場がこの5年間で見たことないほど緑がうっそうとしたのは落ち葉掻きとマテバシイ伐採の成果でしょうか。しない所との違いが一目瞭然でした。ヤブミョウガがまた勢力を増し、白い花をあちこちにつけ、秋には又紫黒色の実を楽しませてくれるでしょう。他にイノコズチ、ハエドクソウ、アジサイなどが咲いていました。

根本さんからはヤブミョウガとミョウガ、コウゾとクワ、シュランとヤブランの見分け方、ヤマユリの花が咲くまでの話がありました。

## 保全課の窓口

### 深大寺と周辺の湧き水について

今年は雨に恵まれているような感じがしますが、人間の感覚は当てにならないもので、深大寺周辺の湧き水で最も早く涸れ、最も遅く復活する深大寺小学校下の不動の滝は、昨日(7月17日)は水を落としていません。多分梅雨の末期の雨で復活するのではないかと考えています。皆様にもお知らせしている深大寺地域環境資源調査では、水生動物の調査も行いますが、どのような結果が出るのでしょうか。当然目新しいものは出てこないと予測をしていますが、それでも結果はどう出るか期待はします。昨年の都立農業高校で行った君塚先生の調査では、ホトケドジョウの個体が確認されませんでした。また、別に行った調査でも確認はされていません。調布のシンボルでもあるホトケドジョウですから、多くのポイントで確認できればいいのですが。(小豆畑)



誰かボクのこと噂してる?



全く1本の草も生えていなかった土からあつという間にアヤマやオトギリソウ・アマナといった可愛い花が咲き、夏にはクサギ・アカメガシワ・ネムノキ・ヌルデ・クスノキ・マツ・ヒメコウゾといった実生木が幅をきかせ、今では写真のように立派な雑木林状態です。

隣の畑で採れたじゃが芋が茹で上がるまで子ども達は虫とりをして遊びました。今年はジョロウグモを見かけませんが、まだ少し小さいシヨウリヨウバツタや蝶など沢山採取することができたようです。

七月十六日、深大寺五差路わきにある「都市森の丘」といわれる場所ではやが芋掘りのイベントがおこなわれました。このあたりは何年も前から東京都が植物公園用地として買上げてきた場所です。植木溜めやゴルフ練習場があったところに土を入れ、都の呼びかけに集まったボランティアの力で百年後の森を目指し、植樹と保全活動を行っています。六年ほど前から現在までに660本余りの植樹をし、それを上回る実生木も芽生えています。

調布あちこち・その10 深大寺元町五丁目

## 保全活動 ~ 市民のうごき 7月

他に、国分寺崖線緑地整備、環境保全課の支援と活動の継続、植生調査の公表と図鑑作成にむけてなど話しあいました。(安部)



### ■ ちょうふ環境市民懇談会 運営委員会

7/10(月) 18:30~21:00  
たづくり12F

○環境市民懇談会全体イベント  
10/29(日)に野外イベントとしてカニ山で開催。保全活動に興味がある人を対象に「雑木林の保

全活動を担う人を増やす」ことを目的とし環境モニターの「そぞろ歩き」と併催する。

○市民力アップ講座の開催企画  
市民の保全活動を支援できる企画、実務、コーディネートのできる責任を担える市民を養成する。  
○環境学習支援のルールづくり  
市の環境学習支援について、H19年度の施行を目指し、運営会議に諮りながらルール作りをしていく。

### ■ ちょうふ雑木林連絡会 第2回(夏編)開催

7/18(火) 18:30~20:30  
たづくり303会議室

1. 情報交換: ・人間樹林の会、カニ山の会、若葉町第3緑地、環境モニターから活動の様子。

・緑と公園課から、国分寺崖線緑地整備の説明会を7/19と7/21

に実施する。国分寺崖線沿いの行政連絡会が発足した。10/28世田谷区「国分寺崖線フォーラム」が開催予定。調布市の緑の祭典も同日実施。

・環境保全課から今年度の雑木林塾の企画内容、環境学習支援事業のルール作りについて。

・環境市民懇談会から(仮称)「雑木林まつり」を10/29(日)に開催する。「連絡会」参加団体もサポートスタッフとして参加し、また活動アピールもしていただきたい。

2. 今後に向けて: ・行政の窓口を1本化してもらえるよう要望していく。・各活動グループの状況が分かる一覧表を作る。(試作:カニ山の会:小林さん)。・議事録はやはり必要。

(レポート:江刺)

# 市民活動カレンダー & おしらせ

## 全ての会でメンバー随時募集中!

### 環境モニター

定例 8/5 (土) の活動は休みます。

次回予定 9/2 (土) 10:00~12:00

集合場所: 未定

内容: 崖線樹林内の植物観察

持ち物: 図鑑など

問合せ: 環境保全課 042-481-7086

### カニ山の会

8/12 (土) 10:00~12:00

集合場所: 深大寺自然広場、野草園横

内容: シュロ伐採、笹の下刈り、

定例活動日: 第1土曜。初めての方も作業ができる服装(長袖長ズボン)で直接集合場所へおいで下さい。

### 若葉町3丁目第3緑地-保全活動

8/13 (日) の活動は休みます。

定例活動日: 第2日曜日 次回は9/10(日)

集合場所: 人間地域福祉センター

内容: 樹林地の整備

連絡先: 緑と公園課 042-481-7083

### 人間樹林の会

8/20 (日) 9:30~12:30

集合場所: 人間地域福祉センター

内容: 保全活動/誘(遊)歩道の経路検討ほか原則毎月第3日曜に活動しています。

問合せ: 環境保全課 042-481-7086

### 凸凹山公園ワークショップ -布田崖線緑地を考える市民の会-

8/27 (日) は活動をお休みします

定例活動日: 第4日曜 次回は9/24(日)

集合場所: 現地(若宮八幡向かいの緑地)

連絡先: 緑と公園課: 042-481-7081

### 編集後記

7/21 現在東京はまだ梅雨の最中。各地で大雨、土砂崩れ騒ぎが起きている。蒸し暑さのせいか今回は偶然1面から3面まで水のお話。旧石器時代はもちろん、現代も人間の生活と川は切り離せないようです。(編集当番: 鍛冶直美)

### 野川流域の旧石器時代フォーラムが開催されました

7.15~16 にわたり明治大学付属学校用地の遺跡調査に関して現地説明会、講演会、公開シンポジウムが行われました。調布市富士見町と三鷹市大沢に所在するここは(調布中北側)3万5000年前までは多摩川でした。その後武蔵野地帯南部の国分寺崖線に沿って流れる野川流域としてこれまでも多くの遺跡が発掘されている地域です。今回の調査地からも2万点以上の遺物が発見されたそうです。これは野川流域でも有数の規模となっています。今後調査がすすめばまた色々なこと解明されることでしょう。(K)

### 奄美通信 その3

環境モニターなどで活躍していた山室さん(現 奄美のマンガースパスター)から7/18のお便りです。

梅雨明け後一ヶ月が経ち、今年こそフェリベニを見つけないぞと意気込んでいたにも拘わらず結局きょうまで見つからずじまい、些か意気消沈気味の今日この頃です。

ちなみにフェリベニとはフェリエベニボシカミキリという、梅雨明け後の一ヶ月ほどしか姿を見せない、奄美大島固有種で、これを見たことない虫屋(昆虫愛好家のこと。虫を売ってる商売人ではありません)はモグリだといわれても仕方ないほどのものです。

さて森の中ではツルランがぼつぼつ咲き出しました。花の高さ50cmから1mほどもあり、群落をなしている所では満開になると壮観な景色です。たくさんあるので、去年は「何の花だろう」と思いつつもあまり気にせず刈っていました。その後環境省のRDBでは絶滅危惧II類とされている希少植物と知りました。今ではAMBの作業マニュアルでも「むやみに刈らないよう注意すること!」とされています←私が書いた(^^)



### 会議日程

#### ちょうふ環境市民懇談会・運営会議

8/7 (月) 18:30~20:30

たづくり 302 会議室

内容: ・10/29の秋のイベントについて・環境市民懇談会5年目の点検<運営委員会について、他

#### ちょうふ雑木林連絡会

第3回予定

10/16 (月)

18:30~20:00

場所: 未定

「ちょうふ環境市民懇談会」は、調布の自然環境を市民・行政・事業者の協働で保全・改善・回復していくために設立されました。2001年から保全活動の交流・支援、人材育成、情報収集・発信、提言などの活動をしています。ぜひご参加ください。

### ちょうふ環境市民懇談会

連絡先: 調布市環境保全課 tel 042-481-7086

E-mail: [kankyuu@w2.city.chofu.tokyo.jp](mailto:kankyuu@w2.city.chofu.tokyo.jp)

~調布市ホームページでカラー版がごらんいただけます~

市公式HP [くらしのガイド](#) 環境 環境学習 自然だより